

高梁川流域地域づくり連携推進事業 成果の合意書

事業名 : 笠岡ライター育成事業～高梁川流域ライター塾～

グループ名 : 高梁川流域ライター塾実行委員会

高梁川流域地域づくり連携推進事業は、高梁川流域市町に地域課題を解決するノウハウの拡がりを生み出すことを目的として実施するものである。

本事業の実施にあたり、倉敷市（以下「甲」という。）と高梁川流域ライター塾実行委員会（以下「乙」という。）は、目指す成果とそれを測る指標を以下の内容で合意する。また、乙は以下の実現を目指して事業を実施し、甲はその進捗状況を確認し、必要に応じて助言又は指導を行う。

1 ノウハウの拡がり（グループ参加団体間でのノウハウの拡がりに、どのような成果があるか）

(1) 長期アウトカム（長期の成果）

目標	かさおか教育 DMO が、地域情報の自主的な発信を促すための意識醸成や技術指導のノウハウを蓄積しながら、新たな発信者を育成するとともに、受講生のスキルの維持及びレベルアップを図る。これにより、笠岡地域において自らのまちに興味・関心を持つ人や活動に協力する人が増え、多彩かつ継続的な地域情報の発信に繋がる。
----	--

(2) 短期アウトカム（令和3年度事業の成果）

目標	かさおか教育 DMO が、はれとこのノウハウを学ぶこととともに、ノウハウを「ライター塾の開催マニュアル」としてまとめることで、笠岡地域において主体的・継続的にセミナー（ライター塾）を開催できるようになる。
指標	セミナー開催のマネジメントができるスタッフの数:現状 0人 → 事業実施後1人

(3) アウトプット（令和3年度事業の直接の結果）

目標	はれとこが、かさおか教育 DMO にセミナーの運営を通じて蓄積したノウハウを伝える。
指標	協働でのライター塾の開催回数:現状 0回 → 事業実施後 8回

目標	かさおか教育 DMO が、はれとこから学んだノウハウを生かして、中高生の地域探求活動における情報発信の支援を行う。
指標	中高生の地域探求活動における情報発信:現状 0回 → 事業実施後 1回

2 地域課題の解決（イベント等に参加した住民に対して、どのような成果があるか）

(1) 長期アウトカム（長期の成果）

目標	笠岡地域の住民・団体が、かさおか教育 DMO によるセミナー及び活動のサポートを通じて、自分たちの住む地域の魅力を発信するスキルや協力できる仲間を得ることで主体的に活動できるようになり、地域の魅力を再発見して愛着を深めるとともに、更に地域内外へ発信していく好循環が生まれる。
----	---

(2) 短期アウトカム（令和3年度事業の成果）

目標	「笠岡市市民活動センター」に団体登録されており、Web で継続的に地域の情報を発信している団体を増やす。
指標	現状 2団体 → 事業実施後 5団体

(3) アウトプット（令和3年度事業の直接の結果）

目標	笠岡市（またはその近隣）の住民で、情報発信に興味がある、または既に行っている人に向けて、情報発信人材を育成するセミナー「高梁川流域ライター塾」を開催してノウハウ・スキルを伝える。
指標	セミナーの延べ受講者数:現状 0人 → 事業実施後250人

目標	セミナー受講生が、実際に Web メディアへ記事を投稿する。
指標	セミナー受講生による Web メディア投稿記事数:現状 0件 → 事業実施後10件

令和3年7月19日

甲 倉敷市西中新田640番地
倉敷市
倉敷市長 伊東香織



乙 倉敷市中央2-13-3
高梁川流域ライター塾実行委員会
一般社団法人はれとこ
代表理事 戸井健吾

